

東北バイク旅日記

2009.07.28 ~ 08.10

sugimoto

7月28日に出発した今回のバイク東北の旅は、結果として、ちょうど2週間、1553kmのドラマでした。旅中は何かとご心配を掛けた事とは思いますが、昨日、事故、怪我もなく自宅に戻った事を報告いたします。今年の天候不順には、出発のタイミングがなかなかつかめなかったばかりか次の日の予報さえあてにならず、最後には台風の進路予測にまで惑わされました。結局、期間中8日間は雨に悩まされました。もともと詳細計画はやらず、その時々判断で進むつもりでいた為、なんでもありでしたが、こんな旅だから予測しなかった事にマイツリ感動したりの毎日でした。

7/28日

土浦ではこの門出を祝して出向いてくれたトラ友(トライアスロンの友人)のHさん、そして私の手違いで時間が間に合わず会えなかったYさん(雨模様の中で心の余裕がなく先を急いだ事と言い訳させて下さい)Hさんには、友部まで友情の並走をしてもらい、出だしを祝ってもらいました。どうもです。

東海を過ぎた頃から本格的に雨模様となり、ついに日立の街中で雨宿りでした。いつ止むともなく激しい雨に早くも挫折感をおぼえ、旅の終わりさえも脳裏にちらつき今後の旅が思いやられました。1時間ぐらいは経ただろうか、小ぶりになったのを見計らい再開です。幸いにもその後は霧雨模様が続き、追い風が救いで、何とか心の立ち切れを抑える事が出来ました。この6号線は昔センチリーランで通った経験があり、発電所や長く続く海岸線の景色を見て、思い出しながらのライドでした。最初の宿は「いわき」で予約をしたので安心でしたが霧雨の中、地図も真面目に見なかったせいか宿との連絡をした時は、すでに5km以上も過ぎている事がわかりました。いわきは仕事でも何度か来た事があり、思い出は何と言っても初めて食べた「メヒカリ」の美味しさです。今回予約した宿は、小綺麗な温泉宿で、なんと「メヒカリ」が夕食に出てきたのです。感動のご対面でした。(147km)

7/29

朝6:20出発、濃霧の中を雨にならない事を願いながらのライドで、走れる時にただひたすら走るしかないと思うしか無かった。この辺は大型トラックが多く全く気が抜けない。昨日と違いずーっと向かい風で二日目の疲れか、大殿筋が悲鳴をあげている。南相馬ごろから雨足が次第に強くなり路面に水溜りが出来だしたので、またしても雨宿りするしか無かった。まだ予定の距離を半分ぐらいしか来てないので、ずぶぬれになる分けにはいかない。今日の宿泊は仙台と決めていた為何とかして行く

土浦駅



旅の開始



メヒカリ

しかない。暗くなるまでの残された時間と距離で判断しながらの走行であったが、暗くならずすんだ事を良しとしよう。仙台では 35 年ぶりに会った(高校時代の)友人宅で深夜まで酒を交わし、50 年昔の話題が続いた(今回、東北バイク旅をする事に決める時、最後に背中を押した男)。(167 km)

7/30

今日は遅めの 8:20 出発、軽めの距離は昨夜の事を織り込み済みであった。今日も低く垂れこんだ雲天のライドで景勝地松島も時々かすんで見える。北上川を渡り峠を越えれば志津川湾で、峠では気温 19 を表示していた。海風が変わったあたりから結構、涼しいを過ぎている。この辺から三陸海岸の景色、どこを見ても養殖いかだの景色、日本の今後の漁業を思い浮かべる光景でした。そして同時に道路事情が一変する。アップダウンの始まりなのです。何となくこの先を考えたくない光景が始まったのです。(136 km)

7/31

今日は覚悟を決めて気仙沼の宿を 5:30 出発、途中コンビニで朝食をとり 6:00 活動開始。普代まで(192 km)脚を伸ばす予定にしている。気仙沼の港は流石の漁港だ。ただ町を過ぎるととたんに始まる起伏の始まり、どこで終わるかわからない、果てしもなく続く峠とトンネルの連続、向こうの光が見えない長いトンネルが少なくとも 10 か所以上、トンネル総数は数十個あっただろう。その数だけ峠もあった。あの光景が少しでも入り知恵されていたら行かなかただろうと確信する。釜石を過ぎてすでに 11:30 を回っている、今日の予定に無理がある事を思い知らされ宮古泊に変更を決断するしか無かった。案の定釜石からも峠は続き宮古に着い時、宿さがしの時間があっただけでもほっとした。多分採れたての魚介類アワビ、ウニ、ホタテ、そして産地以外では食べたくないホヤ、もちろん土地の刺身と、飛び込みの民宿でこんな食事の感動を覚えるところでした。もちろん嫌いでないお酒も進み気味で困ります。これは無計画が与えてくれた贈り物と思えました。後からじわっと湧いてくるこの感動と思い出に乾杯。(142 km)

8/01

宮古を出ても相変わらず激しい峠が続く、もし昨日当初の予定でここを通っていたら明るいうちの宿到着は多分出来なかつただろうと思うと、正しい判断に感謝。今日は心の余裕がありコンビニでなく入った絶景の食堂、電車が来て鉄橋の真ん中で停止しました。ああ、ここがよく旅番組で紹介される三陸鉄道の絶景ポイントだったんだあ。1800 円のウニ丼を食べながらのひと時でした。小雨の中を走るの慣れた今でしたが、この山間部の区間では雨にたたかれたくなかつたので何とか降りそう



松島



山田湾



三陸鉄道



で降らないこの天気感謝する気持で山間部を終える事が出来ました。久しぶりの街中で、宿さがしをして、着いて見て初めて知った八戸の三社祭、東北が祭りの真っ最中だった事を知った始まりでした。本八戸(元の八戸)駅前飛び込み探した宿に厄介になりました。部屋に通され、けて綺麗とは言い難い老舗と思われるこの宿でウニ、ホタテはもちろんでしたが、太った毛ガニがありました。それを女将が全部殻からホゴシてくれたのです、それからせんべい汁にも感激。(147km)



8/02

朝6:00の出発にも快く対応してくれ、そしてちょっと待って」と言われ、大きいおにぎりを1個持たしてくれる暖かな、旅の感動を感じるひとコマでした。八戸からは鉄道が無い六ヶ所村方面を北上するつもりです。こともあろうにこの日に合わせたかのように朝から霧雨が漂いうつそうとした霧の中を進む羽目になったのです。やがて霧雨は大粒の雨に変わりコンビニで時間の許す限り雨宿りをするも、ついに奥の手で身をまとい進む事に決めるしか無い事態となってしまったのでした。今回は「いつでも輪行」のつもりでしたが、この区間だけは鉄道がありません。覚悟の区間です。ビニール袋を内側にまとい防寒着を外側に着る、今回考えた最少の荷物で最大の雨よけ対策を実施する事となったのです。効果は期待通りで体幹部の温度低下は無くこのレベルの有効な防寒、防雨対策だと思いました。六ヶ所村付近は北海道の道東を思わせる景色が続く錯覚さえ覚えるほどでした。六ヶ所村には原子力施設、港がありひっそりと雨に打たれていましたが異様な雰囲気を感じました。さらに雨に打たれながらも北上し下北半島先端に向かい、原子力発電所を過ぎるとむつ市に向かうゆるい峠を越し、そこは晴れの世界でした。峠を超えるたびに変わる天気に翻弄されました。下北の北海岸に出るとだんだん本州最北を意識、しっかりカメラに収めました。今日の宿は下風呂温泉、予定より一日遅れの到着でした。宿はまたまた魚介類で歓迎され焼酎瓶も倒す事になる、何とも達成感に満ちた今宵でした。(141km)



8/03

今日は基本的に休養日としました。下北半島先端までひた走った自分にお礼として今日はゆっくり同じ宿に泊まる事にしました。大間の最北端記念碑に行き海鮮丼を食べ、温泉に入り、またまた夕食で魚介類をほぼ食べ放題です。実はここに大きな落とし穴があり一晩苦しみました。疲れ胃が弱ってる所にとめどなく生の魚介類が放り込まれ、完全に身体はギブアップしたのです。その晩嘔吐、下痢が朝まで続き、とどのつまり頭だけでなく、身体も含め自分である事を嫌とゆうほど知らされました。(45km)



8/04

昨夜、何回か電話した甲斐があって満杯だった青森市内の宿が取れ、青森ねぶた祭り見物が現実になったのです。しかし今日のライドは辛い、昨夜の後遺症です。朝飯もろくに食べれず力が出る訳がなくよれよれと走るしかありませんでした。むつ市の市街地を過ぎ単調な道を南下していた時、交差点で理解しがたい標識を発見、改めて地図を出し、現在地の確認をするも何が如何したのか全く分からずパニック状態でした。やむなく通行人に聞くと、今来た道を引き返している事が判明、そう考えるとつじつまが合う。原因はコンビニから出る時、何のためらいもなく今来た道に向かった事だと分かりました。かなり注意力が低下している事を自覚させられぞっとしました。宿もある、天気も今日は心配ない、夕方まで着けばOK、景色の良い道の駅で昼寝をする事になりました。夕方、青森中心市街に入ると沿道に棧敷席が作られており祭りの匂いが漂う。19:00 街に脚を運ぶと既に夕闇がねぶた一色に変わっていました。始めてみるねぶた祭り、思いがけない機会を得た事に感謝した一夜でした。(ただしまだ身体がビールを受け付けなかった)(127km)



8/05

ねぶた祭りの話題の中で五所川原の立ちねぶた、弘前ねぶたがある事を知り、立ち寄る事にしました。今日の天気予報では雨は無いと判断したのは甘かった。五所川原に向かう峠に差し掛かった時、いきなり豪雨に見舞われ、木陰の雨宿りは5分と持たず、すっかりずぶ濡れ状態、小雨になったのを見計らいガソリンスタンドでじっくり雨宿りでした。一時間以上我慢の未再始動、目的だった20m以上ある立ちねぶたを見て圧巻、次の弘前に向かった。弘前と言えば弘前城、すばらしいであろう桜を思い浮かべ城内を一回り、そして夜の為に集結中だった多数の扇ねぶた山車も見れたので、怪しい空に後を追われるようにそそくさと次の宿泊予定地である大館に向かった。低く雨雲がたれ込めており周りの山すそは暗く、今から向かう峠越えでは多分雨は避けられないかもしれない。ただ最悪でも、鉄道はある、この峠越え沿いには温泉も2か所ある、何とかなるだろう。予想は的中してしまいました。空はみるみる暗くなり大粒の雨が落ちてきた、たまたまたガソリンスタンドに駆け込むしかなかったのです。まだ13:30だ、ゆっくり晴れるのを待とう、と思うが心は落ち着かない。そして14:30も過ぎたので、かなり小降りになったのを機に約4km先の温泉泊と決め、活動再開です。先に進むに従い路面の水溜りは少なくなってくる、そして温泉地に着いた頃には雨が上がり行く先の空は明るい、しばしの小休止後、やっぱり大館を目指す事にしよう!。何と峠を超えた大館側は雨の降った形跡すらなく晴れているではないか。(115km)



8/06

今日は竿灯祭りを見るために秋田に向かう。ただし青森の時と同様まだ宿の予約ができてない。早めに着いて探すしか無い、そして宿探しに失敗すれば祭りはあきらめ、次の町に進む覚悟だ。

ビジネスホテルとしては早めの朝食ができ、7:00に出発出来た。今日はどう見ても雨の心配はない、その代り？今宵の宿の心配をしないとイケないが。やっぱり晴れた朝のライドは気持ちが良い。8:30 TELでの宿探し開始、またまた運よく3回目の電話で予約に成功、今日のライドがさらにゆとりある快適なものになる事が約束されました。(キャンセル待ちは前日、当日が狙い目)能代の松林、八郎潟の何処までも続く雄大な田圃を通り早めの秋田入り。19:30 夜空に竿灯が一斉に立ちそびえた。青森ねぶたとはまた趣が違い、なかなかだ。ドッコイショ、ドッコイショの囃子がさらに雰囲気盛り上げてゆく。(131km)



8/07

まだ今日の着地点が定まっていないのでとにかく早めに出よう。朝7:00 今日のはっきりしない天気だ。育った田舎(村山市)までは約200km、行けない距離ではないが天候次第と言うところだろうか。10:30 ついに雨が断続的に降り出した。今日中に山形に入るか何処かで途中泊するか迷うところだ。この旅に出て初めて山形の兄弟や旧友(小、中学校時代の)に連絡を取ってみた。結局、今夜は旧友宅にお世話になる事にしてひたすら走る事になった。ただ心配なのは雨だけだったが、この辺まで来れば土地勘があり選択肢は多いし何とかなるだろう!で決めたのだった。近くに住む旧友をも呼んで深夜まで酒宴が続いた(奥さんほんとお世話になりました)。(194km)



8/08

今日は早めの墓掃除と、お墓参りでした。そして隣町東根の兄宅泊(7km)



8/09

今日は西川町に住むハートビュー遠方会員宅にお世話になる事になった。途中姉宅に顔を出し、仙台から山を越えてきた会員と西川町に向かった。(54km)

8/10

昨日午後から降り出した雨は今日朝になっても結構な調子で降り続けている。今回これまでずっと雨に立たれてはきたものの、朝の出だしでは降ってないのでここまで来られた気がする。朝の出だしに降っている雨の中に飛び出してゆくには相当の覚悟がいるものだ。



おまけに明日からの天気も雨マーク、極め付きは台風の進路が関東に向かっている事。いったんは出る身支度をしたものの、どうやら今回の旅は今終わるのが潮時と出てきました。そうと決まればバタバタとバイクをたたみ輪行バックに収納、車中の人となり車窓から雨にたたずむ田園をポーと見ながら、ビールを相棒にして旅の余韻に浸っていました。



工程表			計画時			実績		
	年月日	曜日	出発地	宿泊地着	距離 k m	出発地	宿泊地着	距離 k m
第1日目	7月28日	火曜日	土浦	いわき	136	土浦	いわき	147
第2日目	7月29日	水曜日	いわき	仙台	164	いわき	仙台	167
第3日目	7月30日	木曜日	仙台	気仙沼	126	仙台	気仙沼	136
第4日目	7月31日	金曜日	気仙沼	普代	194	気仙沼	宮古	142
第5日目	8月1日	土曜日	普代	下風呂	226	宮古	八戸	147
第6日目	8月2日	日曜日	下風呂	夏泊崎	146	八戸	下風呂	141
第7日目	8月3日	月曜日	夏泊崎	能代	171	下風呂	下風呂	45
第8日目	8月4日	火曜日	能代	象潟	174	下風呂	青森	127
第9日目	8月5日	水曜日	象潟	東根	121	青森	大館	115
第10日目	8月6日	木曜日	東根	西川	44	大館	秋田	131
第11日目	8月7日	金曜日	西川	桧原湖	114	秋田	村山	194
第12日目	8月8日	土曜日	桧原湖	那須	109	村山	東根	7
第13日目	8月9日	日曜日	那須	つくば	140	東根	西川	54
第14日目	8月10日	月曜日	つくば	自宅	0	西川	自宅	0
距離合計					1865			1553